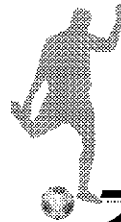


Jリーグのクラブというのは町のシンボルであり、地域住民がアイデンティティーを確認するための装置といってもいい。そうした機能が落ちてくると、入場者数が減り、熱が冷める。

そんな問題を抱えるあるクラブの関係者に先日勧めてみた。「独立してみたらどうですか。日本からの独立を宣言するん



フットボールの熱源

ですよ」。国境を示し、

「ここから内側は我々の世界」ということを意識させ、いい意味でのナシヨナリズムを喚起したほうが、クラブの存在意義がはつきりし、求心力が高まるのではないか。

反応は予想以上に良かった。「それいいかもしれませんねえ」。やってみるかという気が起きると、次々と楽しいプランが浮かんできた。

独立するからには独自の通貨が必要。クラブの象徴ともいべき偉人の名を通貨単位とするのが

独立宣言のススメ

いい。鹿島だったら1シ
1ゴ、柏なら1カレカ、
名古屋は1ピクシー。も
ちろん日本人もありで、
警田は1ゴン、G大阪は
1ツネサマか。スタジア
ムに入場したら両替し、
500ゴンド焼きそばを
買ったりする。たぶんニ
セ札も横行する。

もちろんパスポートも
発行しなくては。入場口
でパスポート検査をし、
スタンプが押される。そ
こまでいくと、やはり大
統領選挙も行わなくては
いけないだろう。国歌や
国旗はすでにある。代表
チーム？ それがまさに
そのクラブチームなのだ
からわかりやすい。

「これ、ウチがやった
ら、追隨するところがた
くさんあるだろうなあ」。
Jリーグを目指すクラブ
が日本全国に次々と生ま
れている。こうなると日
本からの独立国が30にも
50にもなるのではない
か。

翌日、当の関係者に電
話を入れると、「こちら
◎◎王国です」ときた。
すっかりその気になって
いる。独立宣言が待ち遠
しい。(吉田誠一)